

● 地域の犯罪情勢に即した総合的な犯罪抑止対策と子供・女性・高齢者を守る取組の推進

施策目標（PLAN）

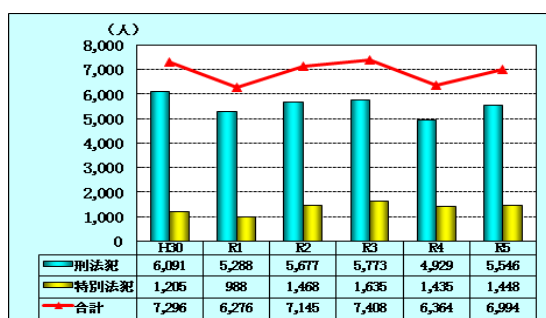
地域の実態に応じた積極的な街頭活動と地域に密着した活動の推進

実施項目（DO）

- 1 地域の犯罪発生状況等に応じた犯罪検挙活動の推進
- 2 地域の実態把握と住民の安心感を醸成する活動の推進

実績（成果）（CHECK）

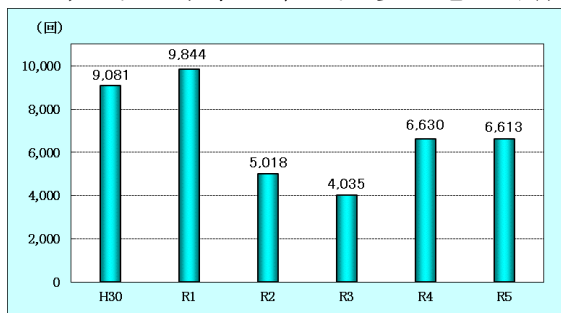
- 1 地域の犯罪発生状況等に応じた犯罪検挙活動



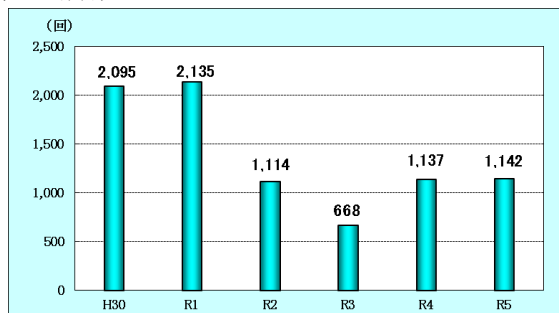
○ 通報時の対応や管内のパトロール活動、職務質問等あらゆる街頭活動を通じて電話 d e 詐欺や乗り物盗、薬物犯罪等県民の身近で発生する犯罪を中心に検挙活動を推進した結果、令和4年と比較して地域警察官が取り扱った刑法犯・特別法犯の検挙人員は合計で630人増加

【地域警察官が取り扱った検挙人員】

- 2 地域の実態把握と住民の安心感を醸成する活動



【防犯・交通安全講話実施回数】



【住民との合同パトロール実施回数】

- 子供から高齢者まで多くの方を対象とした防犯・交通安全講話や地域住民との合同パトロールを効果的に実施し、地域住民の防犯意識や安心感を醸成する活動を推進
- その他の活動実績
 - ・巡回連絡等の街頭活動において、住民の意見・要望を把握
 - ・ミニ広報紙や交番速報等により住民の防犯意識を醸成

今後の課題及び方針（ACTION）

- 1 課題

- 令和5年は、前年に比べ、地域住民の生活に不安を与える事件が増加したことから、引き続きあらゆる街頭活動を通じた検挙活動や、地域に密着した活動（パトロール活動の強化や移動交番車の効果的な活用等）を推進する必要がある。

- 2 方針

- 街頭活動により電話 d e 詐欺や自転車盗などの県民の身近で発生する犯罪に対する検挙活動を推進する。
- 移動交番車の効果的運用(防犯・交通安全講話や地域住民との合同パトロール、見守り活動)により地域住民の防犯意識や安心感を醸成する。